

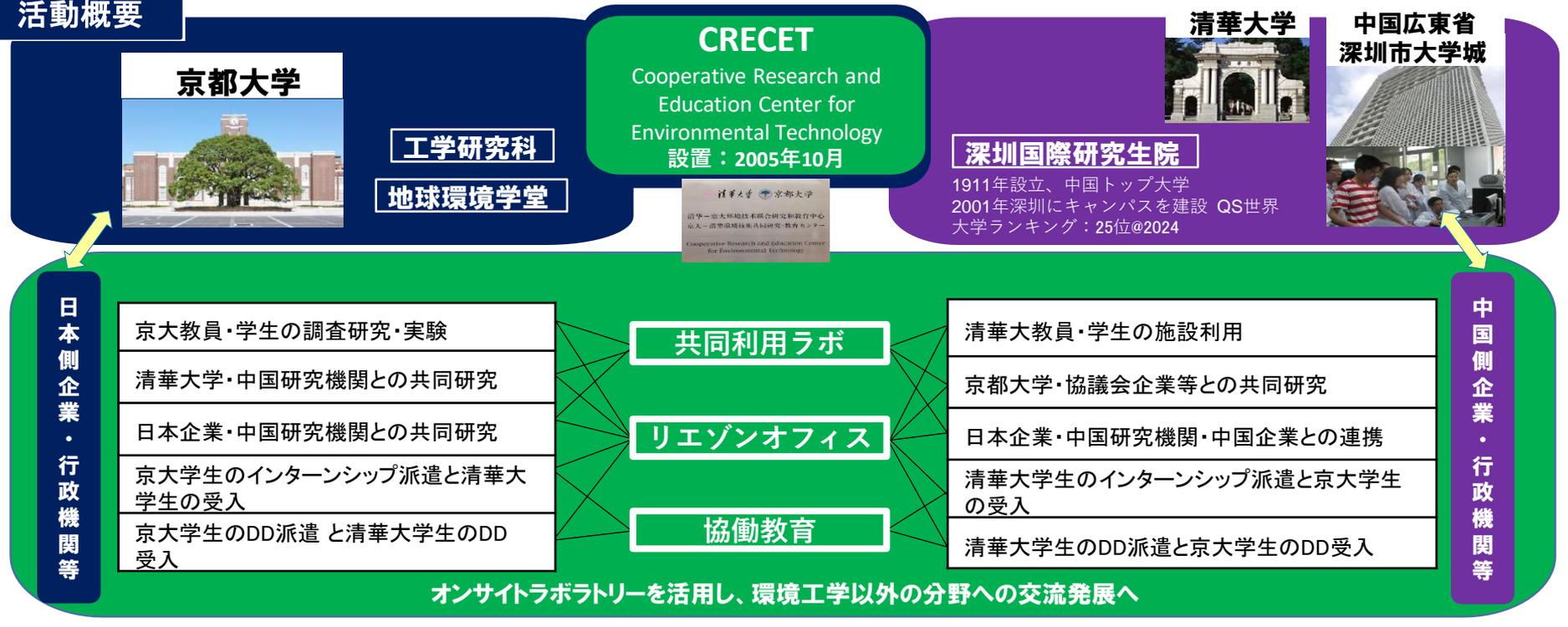
基本情報

- ◆ 認定年度: 2018(平成30)年
- ◆ 設置時期: 2018(平成30)年12月
- ◆ 実施部局: 工学研究科、地球環境学堂
- ◆ 相手方機関: 清華大学深圳国際研究生院(中国)
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置目的: 環境工学分野における日中の共同研究・共同教育の促進
- ◆ 設置場所: 清華大学深圳国際研究生院(中国・深圳)
- ◆ 活動内容: 環境工学の共同教育研究活動を行い、環境問題の解決を目指す。国際共同学位プログラムの実施。

活動による大学全体への波及効果

- 環境分野をはじめとした優秀な留学生の獲得
 - 環境工学分野以外の分野のインターンシップ教育の拡大
 - 国際共同学位(DD)プログラムの他分野への拡大と学位形態の多様化
 - 京都大と清華大の環境工学の共同研究から、他分野、日中の他大学、現地行政・企業を含めた産官学による国際共同研究への発展
- 【2024年度】
- 修士課程DDプログラムとして、日本人学生を継続して派遣した。また、清華大学からの優秀な学生の獲得及び京都大学の学生の国際性を涵養するため、両大学の学生を対象とした短期国際研修を実施した。
 - 現在進行中の国際共同研究を発展させるため、シンポジウム・セミナーを実施した。

活動概要



2024年度の主な活動実績

① 日中環境技術共同研究・教育シンポジウムの実施

- 2024年12月に京都大学—清華大学2024年日中環境技術共同研究・教育シンポジウム(以下シンポジウム)を、対面で開催。
- シンポジウムに先立ち、センター設置のMOUの更新(更新期間を3年から5年に延長)。両大学の教職員や学生の他、日中の環境関連企業関係者などを含めて88名の参加により、活発な意見交換。
- シンポジウムでは、両大学の教育・国際交流状況、両大学の研究者による学術研究発表、日中の環境企業による最新技術の紹介がなされるとともに、JSTさくらサイエンスプログラムへの参加成果を清華大学の学生が報告。
- 国際共同研究・成果発表としては、国際誌に3報の論文が掲載されるとともに、2024年9月にThe Agro'2025 Pre-Workshopを実施。



清華大学深圳国際研究生院でのシンポジウム集合写真

② 修士課程ダブルディグリープログラム及びグローバル環境人材養成プログラムの実施

- 2024年8月に修士課程ダブルディグリープログラム第1期学生1名が無事帰国し、第2期生1名が現地で留学開始。清華大学DD生を1名受入。
- 2024年11月3日~11月9日まで、JSTさくらサイエンスプログラム「最新の環境管理技術を琵琶湖・淀川流域圏で学ぶ」を学生の国際性を高め、若手研究者を育成するための事業として実施。清華大学(中国)から7名、マラヤ大学(マレーシア)から2名、京都大学から6名の学生が参加し、交流を実施。
- 2025年3月9日~15日まで、短期国際研修プログラムとして、京都大学学生10名を派遣し、現地の最新施設見学や清華大学深圳国際研究生院学生とのグループワークなどを実施し、国際性を涵養。
- 支援企業向けのオンラインセミナーを2024年7月、2025年1月に実施。



JSTさくらサイエンスプログラムでの文化交流